

第38回企画展

歴史とロマンの
下野市を描こう

第19回グリム絵画展入選作品

第19回グリム童話賞入賞作品展



第18回グリム絵画展 大賞作品（一般の部）「桐の花のころ、下石橋」 亀田 紀子

2019年 2月10日（日）～2月17日（日）

■午前10時～午後4時

（17日は午後3時まで）

■休館日：2月12日（火）

■入場無料

◆会場 **グリムの森「グリムの館」**

◆主催 一般財団法人グリムの里いしばし

◆共催 下野市教育委員会、一般社団法人下野市観光協会、下野市国際交流協会、
日本グリム協会、白馬会

◆後援 下野市



◆合評会の開催

日時：2月10日（日）
13:30～

講師：絵画展審査員

◆平成18年1月、合併により新しくスタートした下野市。多くの皆さまにこの“歴史とロマンの下野市”を知っていただくために、またふるさと“下野市”を再発見するために、昨年に引き続き下野市の風景画及び下野市をイメージした風景画作品を広く募集しています。今回の企画展では、応募作品の中から入賞・入選作品を展示します。

『第19回グリム絵画展』概要

応募規定：下野市の風景絵画。大きさは4号から20号まで。

日本画、洋画、水彩画、版画など材料・用具は自由。

募集期間：2018年4月1日～2019年1月20日（※作品搬入は2019年1月19日・20日）

審査日：2019年1月22日（予定）

賞：一般の部 グリム大賞（1点）、グリム準大賞（3点）、グリム賞（5点）、一般社団法人下野市観光協会会長賞（1点）、下野市国際交流協会会長賞（1点）、白馬会賞（1点）、特別賞（若干）

幼・小・中の部 グリム大賞（1点）、グリム準大賞（3点）、ルートヴィッヒ・エーミール・グリム賞（1点）、グリム賞（5点）、特別賞（若干）

審査員：杉山吉伸（公益財団法人日展特別会員、一般社団法人光風会名誉会員、栃木県文化功労賞受賞）、森 實（前下野教育技術展幼児部門審査委員長、栃木県美術教育振興会顧問、元栃木県教育委員会美術担当指導主事、日本美術家連盟会員）、渡辺正巳（一般社団法人光風会会員、公益財団法人日展会友）、日下田英彦（栃木県中学校教育研究会美術部会会長、南河内中学校校長）

◆グリム童話賞は、現代の人たちにもグリム兄弟が童話に託した精神を思い起こして、たくさんの人々に「こころの豊かさ」を持っていただきたいとの願いからスタートし、今年で19回目を迎えました。全国各地から多くの素晴らしい作品が寄せられ、今回はその中から大賞作品を展示します。

『第19回グリム童話賞』概要

応募規定：日本語で書いた自作未発表の創作童話。作品の長さは400字詰原稿用紙10枚以内。

テーマ：犬

応募部門：①一般の部 ②中学生以下の部

募集期間：2018年4月1日～2018年11月3日

賞：一般の部 大賞（1編）、優秀賞（2編）、佳作（3編）
中学生以下の部 大賞（1編）、奨励賞（3編）

審査員：岡 信子（一般社団法人日本児童文芸家協会顧問、公益社団法人日本文藝家協会理事、児童文学作家）、※順不同 こやま峰子（児童文学作家、詩人）、戸田和代（児童文学作家）、天沼春樹（作家、翻訳家、ドイツ文学者）、橋本孝（宇都宮大学名誉教授、ドイツ文学者）

◇お断りとお願い◇

本企画展では、上記コンクールで入選した作品を展示するため審査前に展示作品数などの具体的なお知らせはできませんのでご了承ください。

なお、作品応募にあたっては、搬入方法などの応募規定がありますので必ずお問合せください。

◆第17回グリム童話賞 優秀賞作品が出版されました◆

「月あかり洋裁店」ひろいれいこ（PHP 研究所）



[あらすじ]

自分の洋裁店を開いたあかりさんですが、ひと月後、誰も来なくなりました。途方に暮れていた所に月うさぎがやってきて…。

グリムの館、一般書店、amazon 等でも購入できます。

ISBN 978-4-569-78787-9



一般財団法人 グリムの里いしばし 〒329-0502 栃木県下野市下古山747番地 TEL 0285-52-1180
(休館日：毎週火曜日・毎月末日・12/28～1/4/受付時間：午前9時～午後5時)

<http://www.grimm-no.net/>